

# 全 仏

仏暦2538年11月  
(1995年)

NO. 413



第36回全日本仏教徒会議埼玉大会開催  
(大宮ソニックシティで行なわれた式典)

財団法人 **全日本仏教会**

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

# 埼玉大会 開催さる!

# 第36回 全日本仏教徒会議



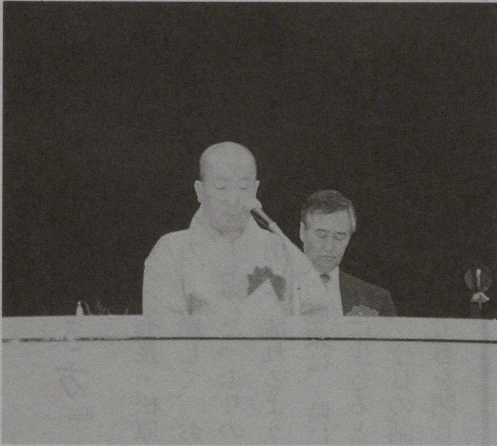
大宮・ソニックシティを満員にした  
二五〇〇名の仏教徒

第三十六回全日本仏教徒会議埼玉大会が、  
さる十月五日（木）午後一時より、埼玉県大  
宮市のソニックシティにおいて開催された。  
今次大会は「共に生きよう ―かけがえの  
ない このいのち―」との大会テーマのも  
と、二千五百余名が参集し、また韓国仏教宗  
団協議会の代表四名にもご来席いただいた、  
盛大かつ熱意溢れる大会となった。

午後一時に開会が宣言されると、前回開催  
県である福岡県仏教連合会副会長・松尾善雄  
師より、埼玉県仏教会会長・江連俊則師に大  
会旗が手渡され、大会の幕が上がった。県内  
の宗門学校、小松原高等学校と小松原女子高  
等学校の学生諸氏による、厳肅で清楚な献灯  
セレモニーに続いて、大会総裁・全日本仏教  
会会長・中村康隆猥下を導師に迎え、四弘誓  
願、三帰依文を唱和。総裁猥下の挨拶に続  
き、式典では地元、大宮市長・新藤亮弘氏  
（代読）と韓国仏教宗団協議会副会長・李泓  
波師の祝辞をいただいた。



▲小松原女子高校の生徒による献灯セレモニー  
◀ご挨拶される中村康隆会長



祝辞を述べられる李泓波師  
後方は通訳の郭湊鎔氏



中村会長の導師による法要



来賓の韓国仏教宗団協議会代表  
左から李師、金時玄師、金道圓師

### 仏旗バツ子

2×4.5寸 500円

### 法輪バツ子

直径1寸 1000円

お申し込みは・・・

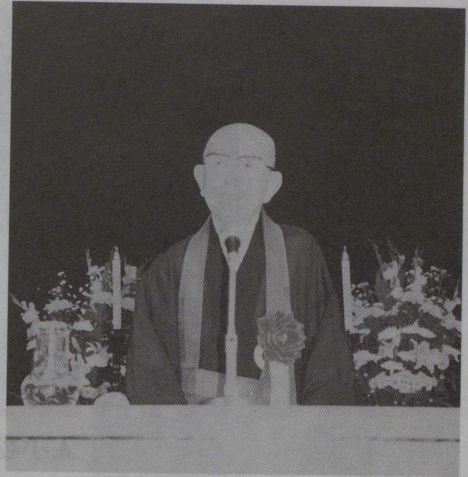
全日本仏教会  
**財 務 部**



赤坂プリンスホテル  
で開催された理事会

去る十月十一日午後二時から、東京の赤坂プリンス・ホテルで、理事会が開催された。

# 理 事 会 開 催



松 原 泰 道 師

記 念 講 演

## 『いい人生の築き方』

記念講演では、南無の会会長・松原泰道師が「いい人生の築き方」と題して、およそ一時間にわたって、ユーモアたっぷりの法話をされた。多くの例を引いて流れるように語られる口調に、二千五百人の聴衆は、時に笑い、時に目を潤ませながら、共に生きるということの仏教的意味を心に刻み、今日の話を人生の指針として、万雷の拍手で幕を閉じた。

議案第三号「阪神・淡路大震災に伴う負担

金減免の承認を求める件」

伊藤議長より上程、鷺尾財務部長が説明、原案通り承認された。

議案第四号「阪神・淡路大震災義援金支出の承認を求める件」

伊藤議長より上程、鷺尾財務部長が説明、原案通り承認された。

議案第五号「事務総局人事について承認を求める件」

伊藤議長より上程、白幡事務総長が新しい国際文化部長として、吉橋勝寛師を紹介、承認された。

協議事項「ルンビニー園マヤ堂修復事業の現況と今後について」

川井ルンビニー委員長が、考古学調査の現況と今後の見通しを報告した。

報告事項①「宗教法人審議会について」

伊藤理事長が、審議会の経過を報告、出席者より活発な質問が寄せられた。

報告事項②「日宗連主催第十二回宗教と税制シンポジウムについて」

伊藤同和推進部長より報告された。

報告事項③各種委員会委員の変更について

伊藤同和推進部長より報告された。

報告事項④事務総局各部報告

各担当部長より報告された。

議長に伊藤治雄理事長、議事録署名人に海老原容光、増田貞圓の両師を選んで審議に入った。

議案第一号「常務理事の変更について承認を求める件」

伊藤議長より上程、伊東同和推進部長が説明、原案通り承認された。

議案第二号「平成八年度予算編成の基本方針について承認を求める件」

伊藤議長より上程、鷺尾財務部長が説明、原案通り承認された。

## シンポジウム

## 差別法名・戒名の早期改正に向けて

## 第七回加盟団体代表者同和研修会から

本年度の加盟団体代表者同和研修会は、去る十月二日午後一時半より、京都グラントホテルを会場に、標記のテーマでシンポジウムを開催し、本会加盟の宗派・都道府県仏教会の代表者など八十余名が参加した。

以下、シンポジウムの各パネラーの発言要旨を掲載する。

## ☆ ★ ☆

## 三浦宗師（真宗大谷派同和推進本部長）

真宗大谷派においては、一九八三年に鹿兒島別院の過去帳から発見された「釋尼梅陀」以来、二つの差別法名があった。これらは、法名をつけ改め、古い墓石・位牌は宗務所に保管している。あるいは遺族宅を訪問し、詳細を説明し了解を得て仏前で法要を勤めるなどしている。また宗内に実施したアンケート調査と、出向いての第二次調査により、穢・畜などの文字が含まれる差別法名が七例見つかった。差別法名の手引書の存在は確認されていないので、個々の法名に即して判断してきた。

転宗による差別戒名墓石の改修は、長野県下の四ヶ寺で調査を行い、当該寺院住職、門徒、行政、地域社会、関連する他宗派と協議し、対応している。

大谷派としては、関係者と充分協議し、特に当該門徒の意見を尊重して、差別墓石の改修を進めている。なお、今後改めて実態の把握に努め、教区同和協議会との連携を深めて取り組んでいきたい。身元調査お断りの趣旨は、住職・寺族だけでなく門徒さんへの研修も進めていきたい。

## 山田能裕師（天台宗参務・社会部長）

天台宗の墓石・法名改正の基本精神は、一〇〇年前の法相宗の徳一法師と比叡山の最澄伝教大師の論争以来、すべてが平等であり、三乗の乗り物はプロセスであって、本来は一乗に帰するという、法華一乗の教えが根本である。

この大乘仏教を根底としてきたにもかかわらず、宗教者も時勢や時の権力には弱く、基本線を守れず、大変ご迷惑をかけてきた、とい

うことには、現代の私たちも同じ宗教者として心から懺悔申し上げる。再び過ちを犯すことのないよう、原点に立ち返ってやっていこう、というのが天台宗の方針である。

具体的な取り組みとして、宗内寺院にアンケート調査を実施したが、十分な回答が得られなかった。「部落史の見方考え方」（寺木伸明著・解放出版社）の記述から、長野県下の寺院の元檀家（現在は真宗大谷派に転宗）に差別戒名があることを知り、元檀家、教区、同院住職、部落解放同盟支部、行政、真宗大谷派などと協議・協力して、お位牌の書き換えをし、一年後に慰霊法要・地藏菩薩像を建立して、現在できうる取り組みをした。

今後は、差別撤廃を徹底的に行い、さらには人権擁護・自然保護にまで進めていきたい。

## 若槻繁隆師（真言宗豊山派総務部長）

部落解放同盟の指摘を受けて、わが宗内に差別戒名のあることを知り、一九八一年と八二年に全寺院を対象に文書調査を行い、八三年より、九十九ヶ寺の関係寺院すべてに現地調査を行った。このほか、転宗によるものを含め、三十四ヶ寺、墓石一八七基、戒名数九二三霊が判明した。

差別墓石は差別の歴史の証拠であると同時に、今日も身元調査に利用される恐れがあり、慎重かつ早急に改正を進めなければなら



発表される各師

ない。改正作業は、施主の宗教感情を配慮し、当該寺院、施主、宗派、行政、運動団体との対話が必要である。墓石については、菩提寺の境内に供養塔を建立し合祀する。過去帳は檀家所有のものも含め書き換え、旧過去帳は宗派が嚴重に管理する。宗内寺院に過去帳の閲覧禁止を通過している。位牌は作り直す。墓石・過去帳・位牌ともその改正費用は宗派が負担する。これまで本宗派が差別を温存助長してきた責任を明らかにし、懺悔立誓して、差別を受けてきた過去精霊の菩提をもうため、総本山長谷寺に平等供養塔を建立し、供養に勤めている。

今後は、県単位で再調査をして改正作業を促進するつもりでいる。宗内意識の啓発をするため、支所・ブロックでの同和推進研修会や同和推進講習会を行い、啓発に力を入れていきたいと考えている。また、運動団体や行

政との連携を深めていきたい。

#### 中井泰淳師（日蓮宗人権対策室長）

差別戒名は、人間尊重・人間平等を提唱する仏教の本義を逸脱した、仏教史上の汚点であり、仏教教団の存在意義を問う問題である。

日蓮宗では、被差別部落を檀信徒に抱える寺院が比較的多い教団と認識しているが、日蓮宗としてつけた差別法戒名は判明していない。しかし、今後判明した場合には、宗祖以来の教風に則って、宗門の責任を厳しく受けとめていきたい。法華経を所依の経典とする日蓮宗では「但行礼拝」の精神に基づき、埋めない・壊さない・隠さない、という視点から史実として受けとめ、懺悔滅罪の反省をもつて対処しなければならぬと考えている。

宗門全寺院を対象に、過去帳・墓石等の調査を書面・人権学習会・現地調査などにより進めている。社会教化事業協会などを通して人権意識の高揚に努めている。

調査の結果、佐賀県で他宗派から改宗された方々で、過去帳の法号は書き改められていたが、共同墓地の墓石に彫られた差別戒名が放置されていた事例が判明したので、関係者の合意のもとに、抜魂法要と供養塔の建立、菩提寺にも供養塔を建立し、開眼法要を修した。近年、長野県でも類似の事例が判明したので、同様に誠意をもって対応したい。

取り組みの隘路となっているのは、当該寺院の住職が伏せておこうとする傾向があるかもしれないので、差別問題・人権意識の喚起・啓発に努めたい。

#### 川崎観随師（西山浄土宗宗務総長）

私どもの宗門には被差別地域の人々はいなかったと思われる。これは過去において、我が宗門の住職や檀信徒が、被差別地域の人々の入檀を認めなかったということが考えられる。現在は被差別地域の人々の入檀が少しずつ増加している傾向にある。

昭和五十九年以来、宗内に三度の調査を行ったが、差別戒名の報告はなかった。しかし病名・自殺等の死因や、女性と家長の関係についての記載、使用人などについての記載等、不必要な記載が多く報告された。これについては、亡くなった方の人権を傷つけないよう、今後一切記載しないこととした。

また、戒名の階位については、私どもの宗門では五重・授戒が盛んに行われ、これを修行した方には「空号、禅定門・禅定尼」という法号が授与される。平成三年に私の自坊で五重・授戒を勤めた際に、檀家のうち一軒だけ、先祖が士族で代々院号がついているという家があり、同和教育推進の一環から、この家の七十代になる老夫婦に何時間もかけて説得し、民主的に他の檀家と同様の戒名を授与

することにご理解をいただいた。また、これからは多額の寄付に応じて院号を授与するということが、全宗門的に克服せねばならない新たな問題となっていると思う。

啓蒙活動に繰り返し取り組むことで、住職自身の意識の向上も見いだしでいけるのではないだろうか。

**村松了章師**（曹洞宗人権擁護推進本部次長）

曹洞宗が人権確立・差別解消に向かって取り組みを始めたのは、一九七九年の第三回世界宗教者平和会議差別発言に対する、人権確立を願う人々や部落解放同盟の皆さんによる



パネラーの各師



蓮池瑞旭師

糾弾・学習がきっかけであった。

一九八一年の第一会糾弾会で差別戒名の存在を指摘されてより、全宗門一万五千ヶ寺を対象に調査を開始し、同年より一年をかけて五、四、六ヶ寺に第一次調査、八、二、九二年の一年にわたって二、二、九ヶ寺に第二次調査を行った。また九二年からは二、二、八ヶ寺を対象に、「差別戒名」改正督励活動を展開している。

改正の方法と九五年九月一九日現在の改正状況。「差別墓石」は個人墓地や同族墓地から運び出し、寺院の境内の「合同供養塔・三界万霊供養塔」に合祀する。運び出した跡地には曹洞宗の費用負担で墓誌・地蔵像などを建立する。改正状況五七・四％。「差別過去帳」は、曹洞宗より支給する新しい過去帳に、「一般」檀信徒と区別なく一連の形式で書き改める。旧過去帳は曹洞宗宗務庁が回収保管する。改正状況五一％。「差別戒名」位牌・檀信徒所有の過去帳は、曹洞宗の費用負担ですべて新しい位牌・過去帳に改める。改正状況八〇％。九五年四月より未改正寺院を対象に、改正が停滞している理由についてのアンケートを実施している。

今後の課題として、「栃木県管内住職差別発言事件」の糾弾の中で、「戒名の位階」の問題、「過去帳」の存在意義の問題、「檀家

制度」の在り方の問題が提起されている。

**蓮池瑞旭師**（浄土宗同和推進事務局参与）

浄土宗では一、二、三年前から差別戒名の改正作業に取り組んでいる。当初は取り組みやすい所から寺院単位で進めたが、現在では改正のしにくいところが残ってきている。実は残っている所の方が差別墓石の基数も多い。改正できたのは現在把握している内の三、四％程度である。

N市の七ヶ寺では一年半前から取り組んでいるが、百基ある差別墓石がまだ一つも改正されていない。実に慚愧に耐えないが、住職が檀信徒に対して改正の趣旨・懺悔・方策を伝え、改正の作業そのものが部落解放を担うことであることを、墓石継承者に理解してもらうのに時間を要している。この手順を抜きにすれば作業は早く進むが、住職の啓発という点からも必要なことであると考えている。

過去帳の書き換えについては、長野教区のある寺院では、差別戒名の記載されている過去帳が一〇数冊にも及んでおり、作業が遅れているが、最近になって教区の他の寺院の住職がボランティアを申し出ている。

専任の同和推進事務局がありながら、改正作業が進んでいないのは、各寺院の住職が啓発されていないということの証拠であり、今後も積極的に啓発に取り組みたい。

# 長野県仏教徒大会

第四十一回長野県仏教徒上小大会が、十月十三日午前十一時から、上田市民会館で開催された。法要、式典に引き続き、作家の瀬戸内寂聴師が「愛と死」をテーマに記念講演を行い、つめかけた約一千五百人の参加者を魅了した

## ≡≡≡事務局録事≡≡≡

一十月一

- 二日 加盟団体代表者同和研修会
- 三日 「日宗連」理事会
- 五日 全日本仏教徒会議埼玉大会
- 六日 正力松太郎氏法要参列

九日 山本杉氏葬儀参列  
局内会議

十一日 理事会

十二日 法律相談室

十三日 長野県仏教徒大会出席

十九日 「日宗連」税制シンポジウム  
智積院講堂落慶法要参列

二十三日 局内会議

二十六日 法律相談室

二十七日 新宗連会館竣工式出席

三十日 同和委員会

### 哀 悼

稲岡 覚順師（元全仏常務理事）

十月八日、八十九歳で死去

元浄土宗宗務総長

# 1996年版 全仏手帳

三帰依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体住所録などを収録!

9×14cmのポケットサイズ

定価 700円

お申し込みは...

全日本仏教会  
全仏手帳係

## 仏旗のご案内

《一枚布染め分け》

- 大仏旗 タテ140cm×ヨコ210cm 32,000円
- 中仏旗 タテ 90cm×ヨコ135cm 18,000円
- 小仏旗 タテ 70cm×ヨコ100cm 9,300円
- 手旗 タテ 70cm×ヨコ100cm 8,000円
- 法輪旗 タテ 90cm×ヨコ135cm 7,400円

申込先 全日本仏教会財務部

☎03-3437-9275 FAX03-3437-3260

## 扇子

中村康隆会長 ご染筆  
(浄土門主猊下)

箱入 2,000円